

第 34 回 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会（平成 30 年 11 月 8～9 日、長崎）報告

標記連絡協議会総会（8 日）と安全研修会（9 日）に出席しましたので簡単な報告をします。配付資料は中川が保管しています。

【総会】

1. 開会の辞
2. 当番校挨拶
3. 議事
 - 1) 新規会員の参加承認
 - 2) 文部科学省施策説明
 - ① カルタヘナ法について
文部科学省ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室
 - ② 共同利用・共同研究体制の強化・充実について
文部科学省研究振興局学術機関課研究設備・研究支援
 - 3) 事業報告 第 10 回遺伝子組換え実験安全研修会
 - 4) 委員会報告
 - ① 幹事会
 - ② 広報委員会
 - ③ 組換え生物等委員会
 - ④ 教育教材ワーキンググループ
 - ⑤ NGS ワーキンググループ
 - ⑥ Gene Drive ワーキンググループ
 - ⑦ 事務局設置ワーキンググループ
 - ⑧ 続・ゲノム編集ワーキンググループ
 - ⑨ 遺伝子組換えカビ・キノコの拡散防止措置ワーキンググループ
 - ⑩ 実験計画書書式・審査検討ワーキンググループ
 - 5) 提案議題
 - 6) 決算報告
 - 7) 事業計画、予算案について

8) 次回安全研修会について

9) 次回当番施設について

4. 議事

【安全研修会】

遺伝子組換え実験室の利用法

個別に寄せられた相談

文部科学省施策説明カルタヘナ法では、生物多様性条約、カルタヘナ法の説明が行われました。特に今回は遺伝子組換え技術専門委員会におけるゲノム編集についての結論、外来の核酸を導入しない生物は規制対象外であり、外来の核酸を導入する生物については規制対象であるとする結論が説明されました。外来核酸を導入せずに細胞内でゲノム DNA を切断し、修復時のエラーにより変異を導入した生物は規制対象外、細胞内でゲノム DNA を切断し、修復時に鋳型 DNA（細胞外で加工した核酸）に沿って変異を導入や、修復時に遺伝子配列を含む長鎖の鋳型 DNA に沿って遺伝子を導入した場合は規制対象になることが説明されました。また、遺伝子組換え生物の不適切な取扱事例が説明されました。違反が疑われる場合は、直ちに実験を止め、事実確認を行う、遺伝子組換え生物の授受は放置されることのないよう両者間で調整する必要がある、事故があった場合、応急措置を執った後、速やかに文部科学省へ報告いただくことが必要、とのコメントがありました。

共同利用・共同研究体制の強化・充実については、2019 年度概算要求状況、研究力向上加速プラン、科研費、戦略的創造研究推進事業、国際競争力強化研究員事業、国立大学改革の推進（経営力の強化、人材育成の推進、若手教員の活躍促進、教育研究基盤の確保・強化）、共同利用・共同研究体制の強化（附置研究所・センター、国際共同利用・共同研究拠点制度）等が説明されました。

事業報告では 7 月 28 日に開催された第 10 回遺伝子組換え実験安全研修会の報告が行われました。75 機関、133 名の参加があったことが報告されました。同研修会については別途参加記に掲載しています。

委員会等報告の組換え生物等委員会報告では、組換え生物等委員会通信を 6 回送信し、カルタヘナ法相談窓口寄せられた 4 件の相談に回答したことが報告されました。教育教材ワーキンググループ報告では、ウェブ上でできる確認

小テストを作成してひな形を公開したこと、今後別の小テストを数種類作成する予定であることが報告された。また、教育教材の英語版の校正作業が行われており、今後会員専用サイトへのアップロードが計画されていることが報告された。アニメ化も検討していることが述べられた。

次期安全研修会は 2019 年 7 月 13 日（土）東京大学弥生講堂にて開催予定であることが報告された。

次回当番校（第 35 回総会 平成 31 年度）は千葉大学に決定した。

安全研修会では寄せられた相談に関する話題が取り上げられました。遺伝子組換え実験とバイオセーフティとの兼ね合いについての質問に対して、似てはいるが異なるものなので別々に対応していることが多いという回答とともに、バイオセーフティ委員会が両方の審査を行っている機関もあることが紹介されました。実験計画書で、供与核酸（同定済）、ベクター、宿主に等や関連遺伝子などの書き方がされている場合の対応については、同定済みの定義は「遺伝子の塩基配列に基づき、当該供与核酸又は蛋白質その他の当該供与核酸からの生成物の機能が科学的知見に照らし推定されるもの」であり、この定義が適用できるのならば、XX 関連遺伝子として良いという回答が紹介されました。全ゲノムの配列が解読された生物の全遺伝子を同定済みとすることはなく、ベクターや宿主で等を使う事例は承知しない、との回答が紹介されました。

（中川）